

東京教区時報

第1051号
2007年10月7日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 伊藤裕元

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: comm.tko@nsk.org
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

◇10月の代祷・信施奉献先
▽浅草聖ヨハネ教会日曜給食活動のため▽月島聖ルカ保育園のため▽こどものためのミニストリーの働きのため▽教役者緊急援助資金のため(第3主日)▽社会事業の日(28日)

◇堅信受領

9月16日 神田キリスト教会で
▽菅野桐子▽菅野颯人▽神谷和江(神田)

9月23日 浅草聖ヨハネ教会で
▽森健太朗▽小林令子▽對馬英昭(聖ヨハネ)

◆とこしえの平安

9月19日 翠川 美代子(86)
聖アンデレ
9月19日 奥堂 洋(83)
聖パウロ

今週・来週の予定

10月7日~20日

- 7(日) 聖霊降臨後第19主日
主教巡回
聖ミカエル教会
- 9(火) 銀座朝拝会
常置委員会
- 10(水) 正義と平和協議会運営
委員会
- 11(木) 人権委員会(聖バルナバ)
外濠G牧師協議会(目白)
- 13(土) 信仰と生活: ナヌムの旅
(~17日)
- 14(日) 聖霊降臨後第20主日
主教巡回
聖アンデレ教会
- 16(火) 礼拝音楽委員会
- 17(水) 教役者レクイエム(主教座)
山手G牧師協議会
(聖マーガレット)
- 18(木) 月島聖公会 将来計画検討
特別委員会
聖職養成委員会
主教座聖堂活動委員会

9月21日 須賀 正美(71)

清瀬聖母

聖テモテ教会(11時半~14時半)
聖ペテロ教会(12時~14時半)

9月28日 竹之内 愛子(93)
三光

▽五本木九条の会講演会(憲法を学ぶ) 10月24日(18時半~20時半、聖パウロ教会。鈴木伶子NCC(日本キリスト教協議会)議長による「剣を打ちかえて鋤とする」。入場無料。照会 03

◇秋のバザー(2) ▽21日

聖アンデレ教会(11時半~14時半)
諸聖徒教会(12時~15時)・
(3710)6031。

《掲載記事の転用可(事前連絡要)》

日本聖公会歴史編纂委員会編集の『あかしびとたち』という人物列伝を読むと、かつての我々の教会がいかに多彩な人材に雲のように取り囲まれていたかを再認識させてくれ、使徒継承の教会がいかなるものであるかを教えてくれる。なかでも、**笛木角太郎伝道師**(一九一九年没)

《恵みに生かされて》

キリストの魅力

とその前に出てくる**伊東松太郎司祭**(一九三七年没)は、**型破りの双壁**と言えるだろう。

司祭 長谷川正昭

笛木角太郎伝道

師は群馬県新治村の出身で、お国柄から博打の盛んなところで師も酒、博打なんでもこいの放蕩者であった。任侠の世界から伝道者に一八〇度転身した同師は路傍説教が得意で、巧みな弁舌によって多くの大衆をひきつけた。成田不動尊に

行つては、参詣客を相手に喧嘩腰で説法し、聖書の販売に努めた。もう一方の**伊東松太郎司祭**は伊東祐司祭(一九九七年没)の父君であるが、少年時代の八代**斌助主教**(一九七〇年没)を育てたことでも知られている。八代主教の型破りな人柄は**伊東司祭の薫陶**によるものである。

使徒継承というのは、**教理や礼拝の継承**だけでなく、**人格から人格へ、霊から霊へと受け継がれる**もので、**恵みというギリシヤ語原文は「魅力」という意味**があることを速水敏彦司祭から教えられたことがあるが、まさにキリストの**魅力**に捕らえられた人々が、その**魅力**を伝達し、継承したのである。

(東京聖三一教会牧師)

▽バーンサバイ共の会で「1周年スタディツアー」 タイ・チェンマイ郊外にあるHIV感染者・AIDS患者のためのシェルター施設を訪ねる旅…、11月15日(木)～19日(月)、参加費8万円、募集人員10人。申込締め10月10日。照会・申込みは同共の会代表者へ 090(2628)1615。

▽聖公会神学院寮祭 同院学生会主催の寮祭「聖公会神学院に遊びに来ませんか？」が10月27日(土)10時半～14時半に。フリーマーケット、神学院探検ツアー、ライブ：など。照会 03(3704)6197 学生寮・月々金19時～22時。フリーマーケットは出店スペースに限りがあり申込先着順。

▽銀座朝拝会10月(第2・4火曜7時半、ルノール喫茶室 ニュー銀座集会室) 9日 感謝話・未定 23日 尾島元始(日本国際ギデオ協会豊島支部長)

▽西新の会10月(第2・4火曜、井草地域区民センター) 9日19時半 聖餐式(高橋頭司祭司式・説教) 23日10時半 聖書の学び(佐々木庸司祭) 最寄り駅は西武新宿線井荻駅、03(3301)7720。

▽10月ランチタイムコンサート・聖、パウロ 12日(金)オルガン 永見亜矢子・神田キリスト 17日(水)オルガン 佐野智美。いずれも12時20分から30分程度、入場無料。・聖テモテ 21日(日)バザー開催時の14時～14時半、オルガン 向井泰子。

《今、この教会では…》

東京聖テモテ教会

8月中夏時間で始まる主日礼拝後に行われた竹内謙太郎司祭の3回連続の夏期講座「イスラムについて」では、その博識を涼しい室内で拝聴しましたが、つまるところ、私達の自己中心的信仰が問い質されております。

中旬には日曜学校のお泊まりキャンプも。都心に子どもが少ないわが教会では参加者は女子中学生が4人。自分たちの食生活や夏期講座の参加者への昼食サービス、お風呂屋に行き、火花やピンポンを楽しみ、ちよつびりまじめな話し合い。貸布団の上のおしゃべりも、やがて夢路へ。大人達に見守られてのびのびと楽しそうに。(菊池 緑)

【学びと働きから】57

ヨルダンでのボランティア

Holy Land Institute for the Deaf (HLID) は首都アンマンの西方約30キロの町サルトに、1964年聴覚障害児の小さな学校として設立された。現在施設には4～20歳の聴覚・発語障害、視聴覚障害あるいはそれら三重苦の児童青年百20人が共同生活、30人が通所で学び、職業訓練を受け、卒業生から大学に進むものやスタッフになるものもある。このHLIDの活動を支えるのはヨルダン国内・欧米約50のパートナー(組織、学校、教会等)及び個人の支援者である。ボランティアは、英米仏独、オランダ、スイス等から

で日本人は初めて。私達は教室のペンキ塗り、庭木の手入れ、パソコン調整、台所などしたが、他にもたくさん仕事がある。

子ども達は明るく人なつこくで、目が合うとニコリ微笑み、親指を立てて、「元氣？」、「OK」とサインを交わす。私達は子ども達の宿舍棟の最上階ゲストルームに寝泊りし、子ども達と一緒に食事し、休み時間には折り紙やサッカーをし、朝晩の礼拝に参加するうちに、手話で食事感謝の祈りができるようになった。またアルファベットとヨルダンの簡単な手話を習い覚えた。

HLIDの責任者ブラザー・アンドリュウ(修道士)は、30年前に着任し、廃校寸前だった学校をここまで発展させた方だ

が、霊的な信仰深い指導者で、子ども達に暖かいまなざしを向けていらつしやるのがわかる。神様がどんな子どもも愛してくださることを繰り返して語り、聖書の物語を生き生きと手話で語るのを子ども達が夢中で見つめていたのが印象に残っている。子ども達ともスタッフともすっかり仲良くなって、別れの日には抱き合って名残を惜しんだ。

エルサレム教区が現在のような状況の中で、困難な人達のために働いていることに共感し、東京教区がこの教区とのつながりを一層深めていくことができよう祈り、努めていきたい。

岩浅明子

(東京聖マリア教会)